

令和 2 年度入学者選抜学力検査問題

(後期日程)

小 論 文

〔 人間社会学域
地域創造学類 〕

(注 意)

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題紙は本文 8 ページです。答案用紙は 4 枚あります。
- 3 答えはすべて答案用紙の指定のところに、横書きで記入しなさい。
- 4 アルファベット文字や数字は、1 マスに 1 字で記入しなさい。
- 5 マス目のある下書き用紙の様式は 20 字×30 行(600 字)です。
答案用紙の 1 行あたり字数や総字数の指定とは異なる場合があるので、注意して利用してください。
- 6 問題紙と下書き用紙は持ち帰ってください。

- I 国連が取りまとめた 17 項目にわたる持続可能な発展目標 (SDGs) を取り上げた次の文章を読んで、以下の問い(問 1 ～問 3)に答えなさい。

著作権引用箇所のため非公開

著作権引用箇所のため非公開

著作権引用箇所のため非公開

著作権引用箇所のため非公開

著作権引用箇所のため非公開

(出典) 一方井誠治「成長パラダイムから持続可能性パラダイムへの転換に向けた現代の課題」『環境情報科学』48 巻 1 号 (環境情報科学センター, 2019 年)
1 ページから 5 ページまでを一部改変の上, 引用

問 1 筆者が SDGs の色鮮やかな 17 個のシンボルマークを最初に見たときに違和感を持ったのはなぜか，90 字以内で述べなさい。

問 2 「強い持続可能性」と「弱い持続可能性」の違いは何か，130 字以内で述べなさい。

問 3 「弱い持続可能性」の考え方から「強い持続可能性」の考え方に軸足を転換することが必要だとする筆者の主張について，あなたの賛否を明確にし，その理由を具体例に言及しつつ 500 字以内で述べなさい。

Ⅱ LRT(Light Rail Transit)とは、路面電車などの新しい形態であり、乗り降りしやすい床の低い車両などに特徴がある。わが国のある地方都市では、中心部と周辺部を結ぶ鉄道をLRTに転換し、以前よりも運行頻度を増加させ、新駅設置によって駅間隔も狭くした。図1と図2は、このLRTへの転換以前と以後について、平日1日の利用者数の状況を示したものである。以下の問い(問1～問3)に答えなさい。

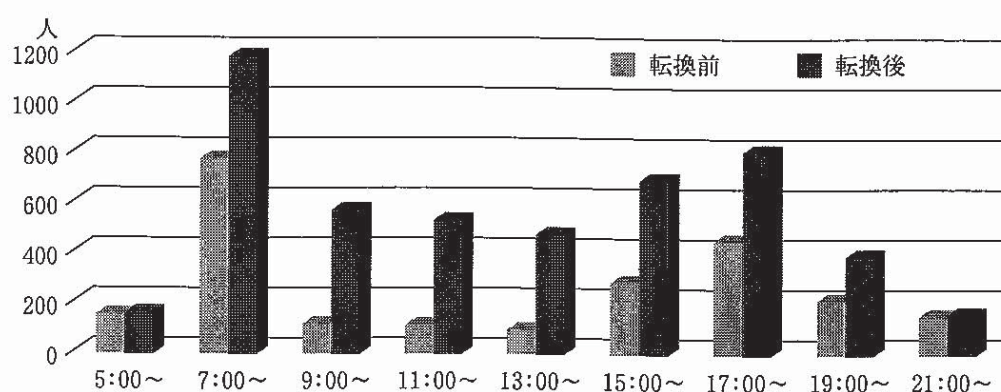


図1 LRT 転換前後における時間帯別の利用者数の変化

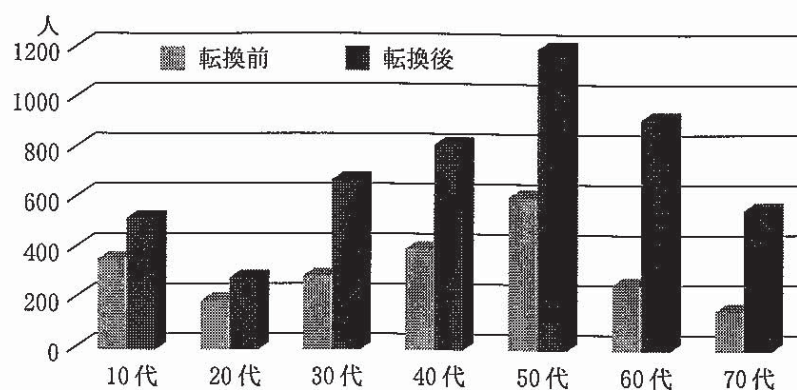


図2 LRT 転換前後における年代別の利用者数の変化

問 1 図 1 にもとづいて、LRT への転換によってもたらされた変化を、200 字以内で説明しなさい。

問 2 図 2 にもとづいて、LRT への転換によってもたらされた変化を、200 字以内で説明しなさい。

問 3 図 1 と図 2 の両方を組み合わせることによって、LRT への転換によってもたらされた変化を、300 字以内で考察しなさい。